

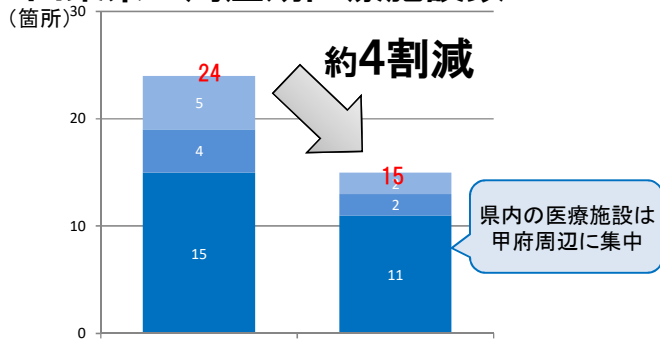
中部横断自動車道（長坂～八千穂）の整備効果



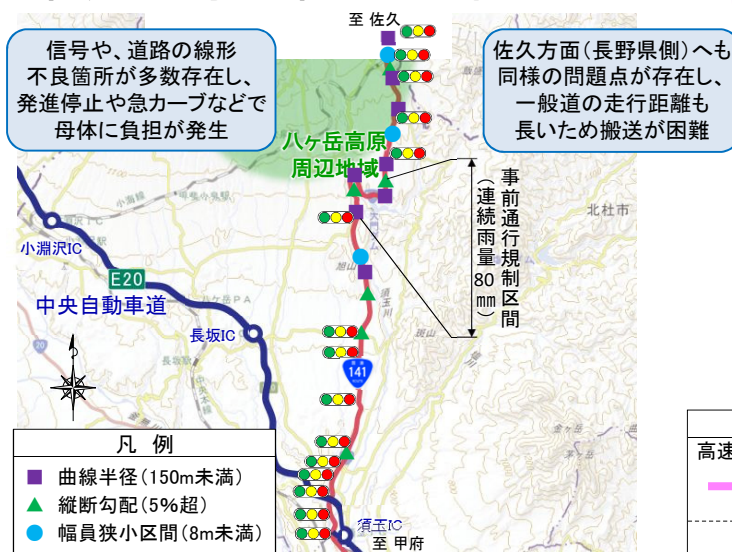
地域の医療支援

周産期医療機関へアクセスしやすくなり、出産環境が向上 —

■山梨県の周産期医療施設数

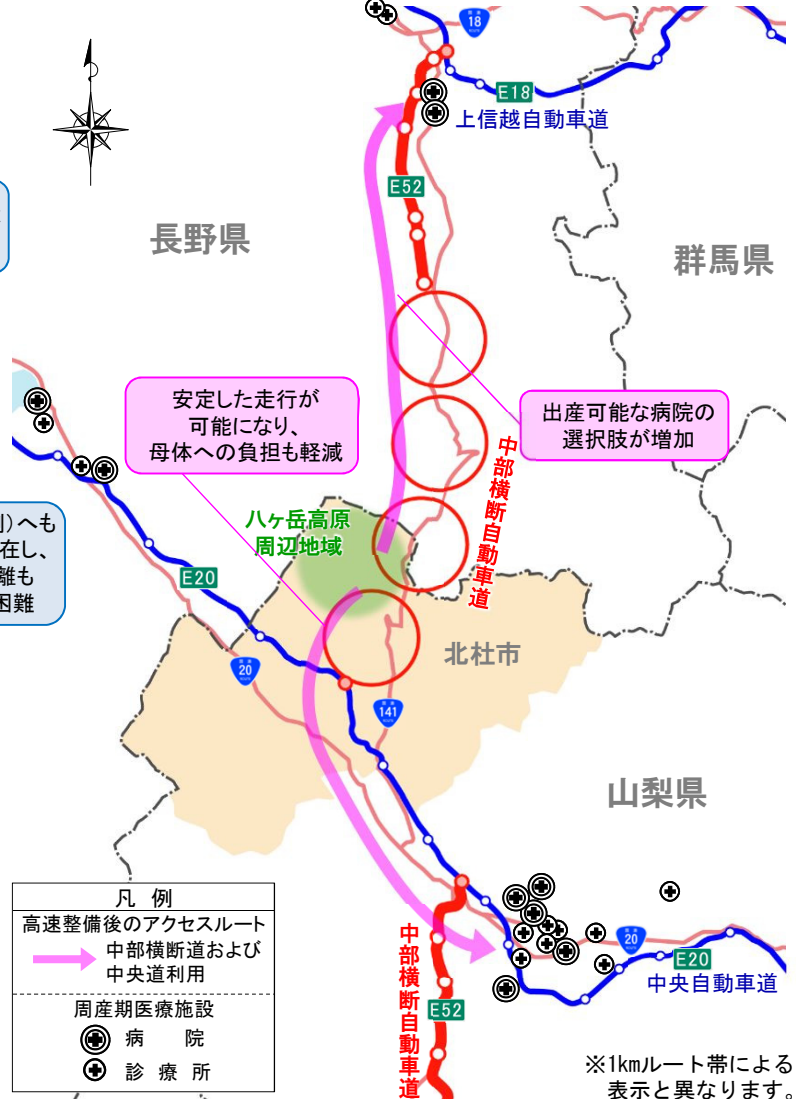


■国道141号(北杜市内)の問題点



出典:平成22年度社会資本整備審議会道路分科会
関東地方小委員会資料(国土交通省)を参考に作成

■中部横断道整備によるアクセス性の向上

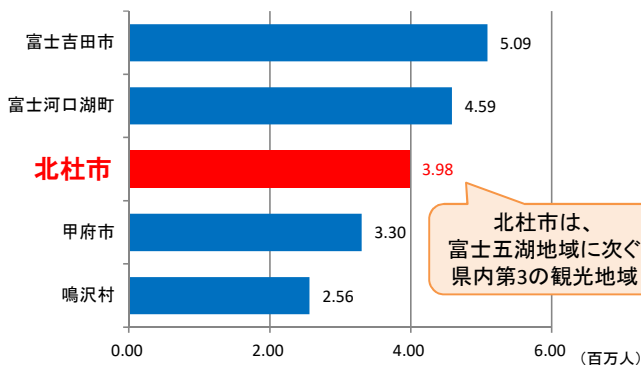


観光地の集客力向上

新たな観光アクセスルート整備による集客

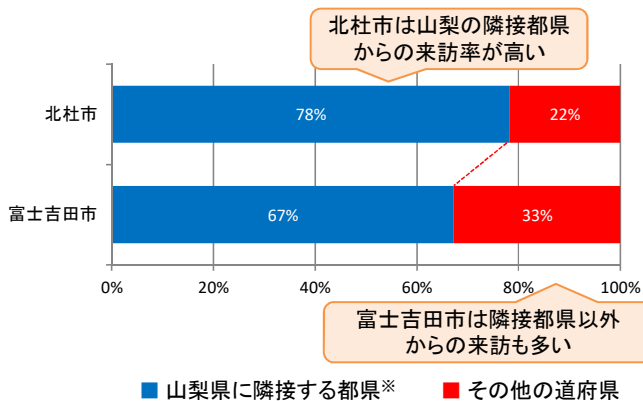
■山梨県の観光入込客状況

市町村別観光客数上位5市町村



北杜市は、
富士五湖地域に次ぐ
県内第3の観光地域

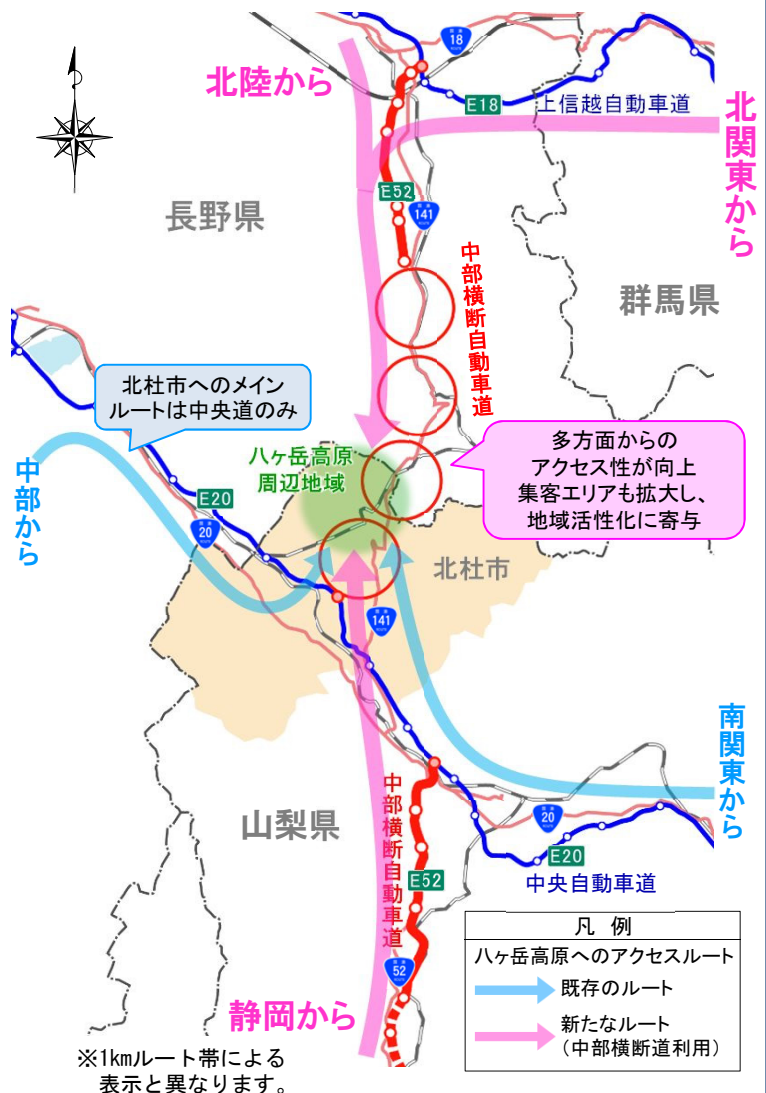
■来訪者の出発地



富士吉田市は隣接都県以外からの来訪も多い

出典：RESAS From-to分析(滞在人口) 2016年休日

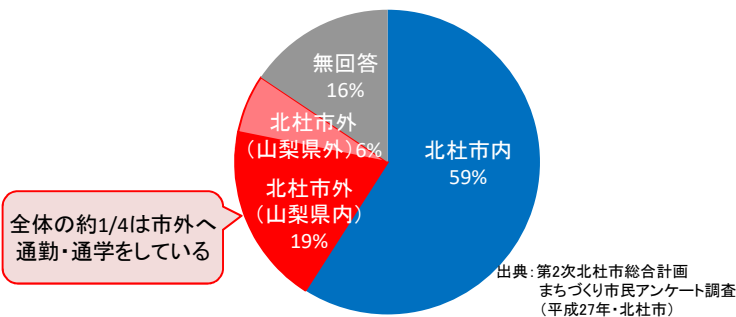
■中部横断道整備による集客エリアの増加



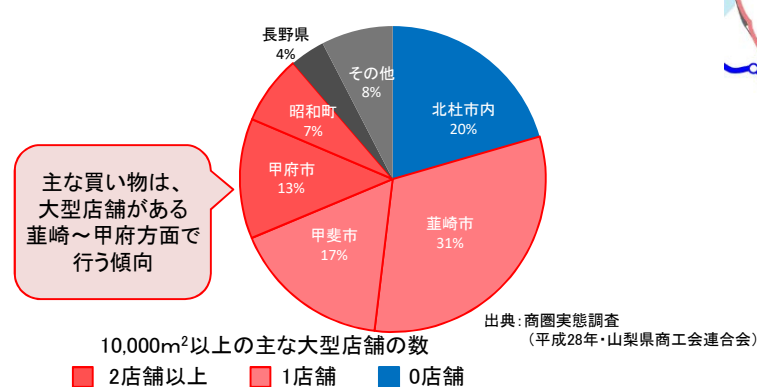
生活利便性の向上

移動時間短縮により、通勤・通学・買い物等が便利に

■ 北杜市からの通勤・通学先



■ 北杜市民の買い物先



■ 長野県南佐久地域の買い物先

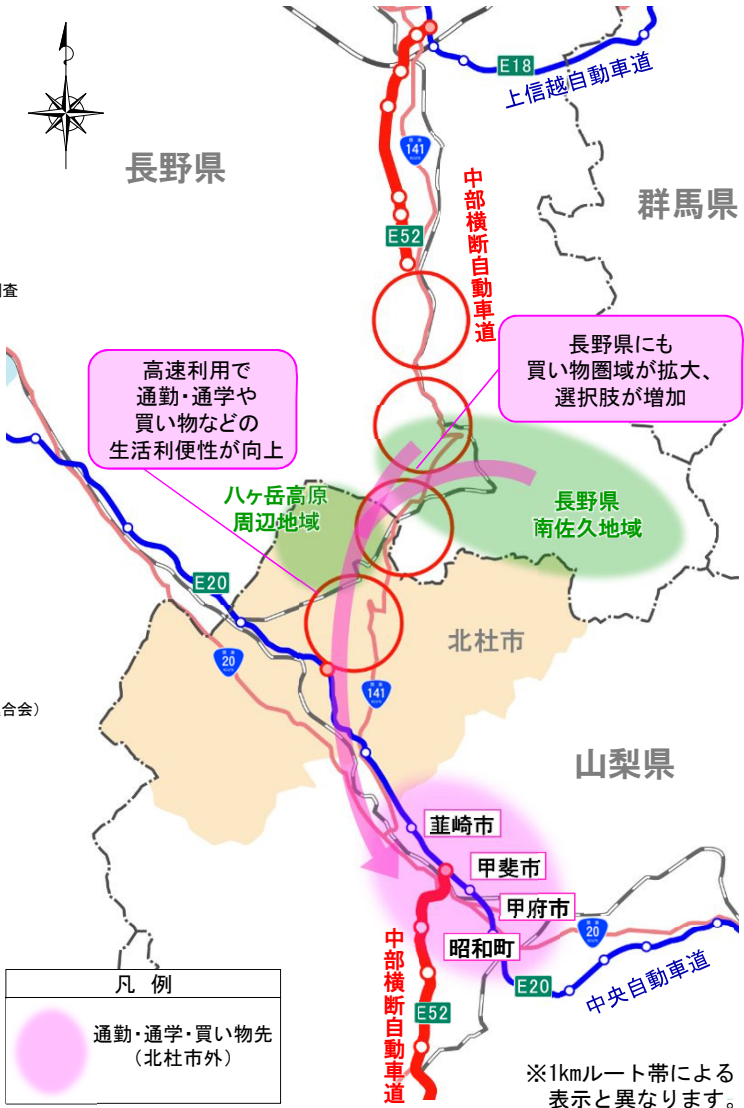
順位	市町村名	平成27年 流出率※
1	南木曽町	84.7
2	大桑村	51.9
3	南牧村	23.2
4	根羽村	21.6
5	売木村	18.5
6	川上村	17.6
7	栄村	14.7
8	原村	12.6
9	富士見町	11.7
10	小谷村	8.5

長野県南佐久地域の南牧村および川上村は、県外(山梨県)での買い物が約2割

※流出率：地元市町村以外で主に買物をする世帯の割合

出典：長野県商圏調査報告書
(平成27年・長野県産業労働部)

■ 中部横断道整備による生活への効果



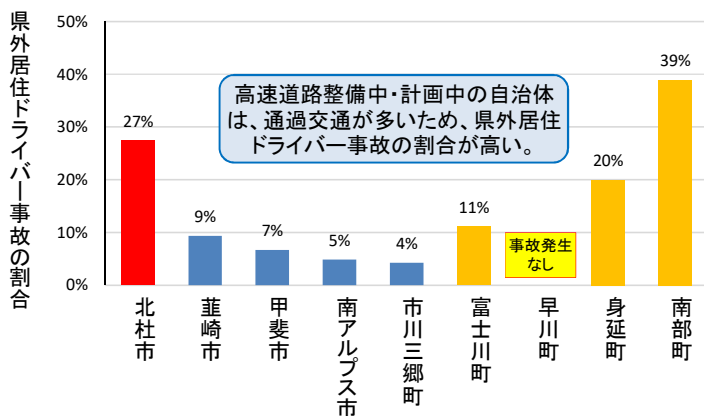
中部横断自動車道（長坂～八千穂）の整備効果



現道の交通安全性向上

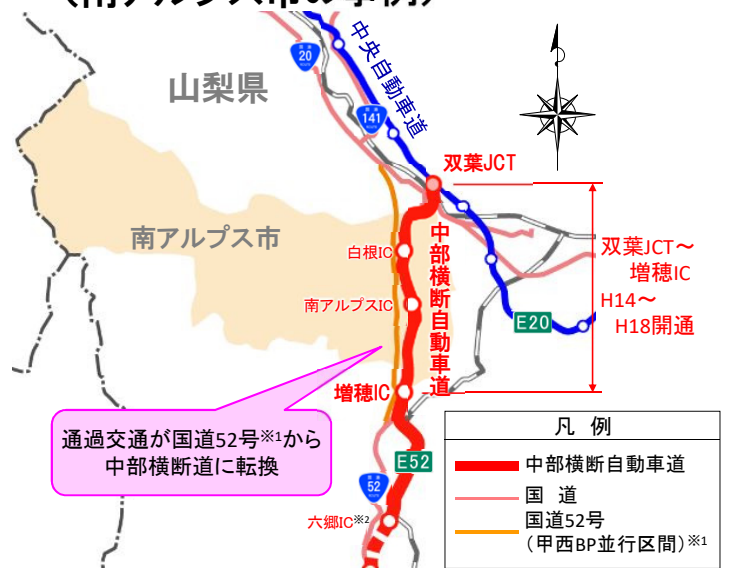
通過交通の転換により、現道の交通事故減少に期待

■ 中部横断道沿線自治体での事故の特徴 ■ 中部横断道(双葉～増穂)開通による効果 (南アルプス市の事例)



中部横断道および供用区間の中央道 ■ 整備済 ■ 整備中 ■ 計画

出典：平成26年交通事故のあらまし

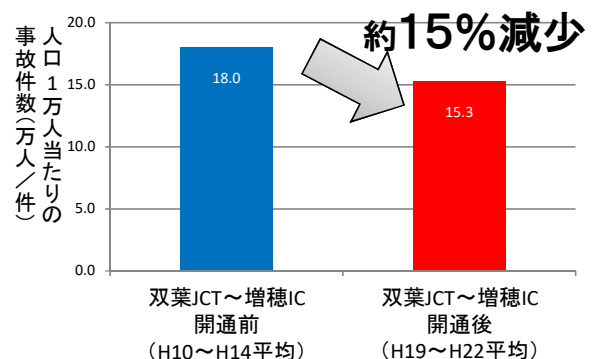


※1 国道52号(甲西BP並行区間): H28に国道から県道へ変更
 ※2 増穂IC～六郷IC: H29開通

■ 清里小学校前を通過する大型車



国道52号※1の事故件数



出典：市町村別交通事故発生状況

※1 国道52号(甲西BP並行区間): H28に国道から県道へ変更

現道の代替路確保

『命の道』の確保により、災害時の長期孤立を回避

■現道の脆弱性による孤立化の懸念

■中部横断道を代替路に地域防災力を向上



通行止め時間: 82.5時間

国道141号の除雪状況
(北杜市境付近)
出典: 山梨県提供資料

豪雪で現道が埋まり
現道が通行止
北杜市内の集落が
数日間孤立 (H26)



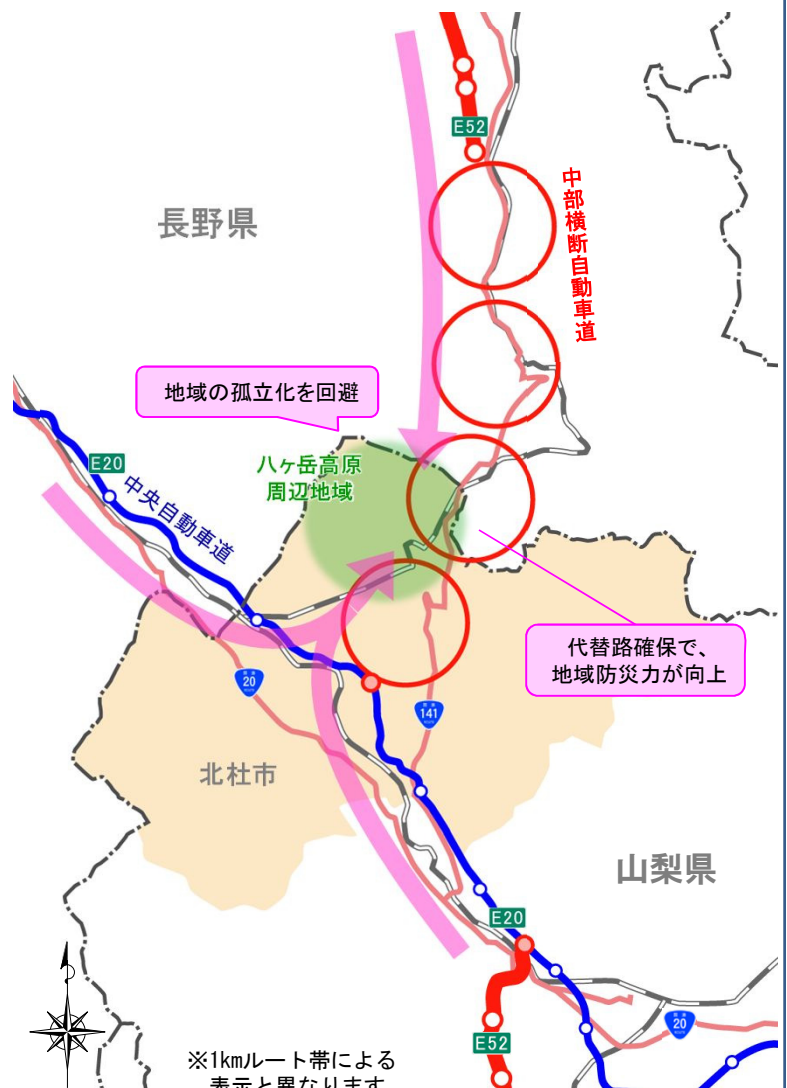
通行止め時間: 32時間



通行止め時間: 2時間30分

国道141号の土砂流出・倒木状況 (北杜市長沢付近)
出典: 山梨県提供資料

豪雨時等に土砂流出や倒木があり
現道が通行止 (H30)

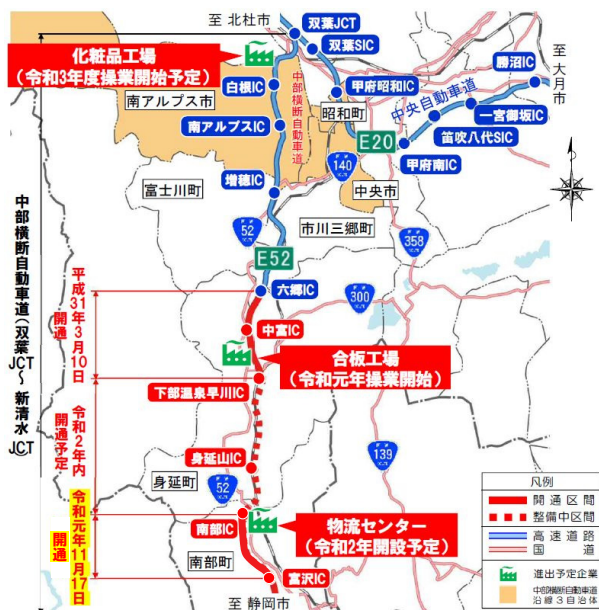


新たな企業立地・雇用創出

中部横断自動車道
中富IC(H31.3.10開通)

利便性の向上により、企業立地の進展・雇用創出に貢献

■沿線地域における企業進出



○白根IC近く【大手化粧品メーカー】

- ・11%の工場建設 ・令和3年度稼働を目指す
- ・従業員300～400人のうち8～9割について現地雇用を見込む

○下部温泉早川IC近く【県外木材加工メーカー】

- ・既存工場を改装し延べ床面積0.75%の合板工場建設
- ・令和元年5月10日完成操業開始
- ・工場の従業員約40人のうち30人を地元から雇用

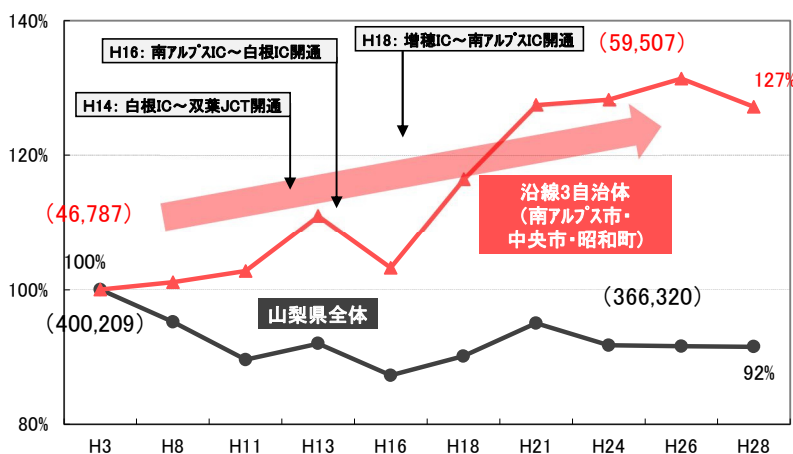
○南部IC近く【県外物流会社】

- ・3.3%の物流センター建設 ・令和2年開業を目指す
- ・従業員は、周辺町内から新規雇用(10名～40名)を予定

出典:ヒアリング等(H31.1～R1.5)

- 山梨県の恵まれた自然と豊かな水などの地域資源や首都圏とのアクセス性から様々な企業立地が期待される

■沿線3自治体の雇用創出



■インフラ整備による地価上昇

	工業地			
	令和元年度		平成30年度	
	平均変動率 %	平均価格 円/㎡	平均変動率 %	平均価格 円/㎡
全国	1.0	39,400	0.5	39,100
三大都市圏	2.9	91,900	2.1	91,500
地方	0.4	20,400	0.0	20,300
山梨県	1.2	14,100	▲ 0.5	13,900

※三大都市圏:東京圏、大阪圏、名古屋圏

※地方:三大都市圏を除く地域

出典:令和元年度山梨県地価調査

- 中部横断自動車道の開通により利便性が向上し、企業立地が進展、地域の雇用創出に貢献
- 基準地価(7月調査)では工業地の平均変動率が27年ぶりに上昇し、全国平均を上回る